

おむすび ^が 地域をむすぶ

Vol. 2

1月17日は おにぎりの日
震災を忘れない……



名古屋名物「天むす」ですが……
発祥の地は三重県津市だそうです

豊岡市障害者自立支援協議会発行会報誌「おむすび」 編集／はっしん部会



会報誌の母体、豊岡市障害者自立支援協議会については初回拡大号に全体的な構成や取り組みを掲載しました。今回からは部会一つ一つをピックアップして詳しい取り組みについて紹介させていただきます。今回は【せいかつ部会】を特集～。

せいかつ部会には2つのプロジェクトチームがありますが、今回は「権利擁護プロジェクト」について紹介していただきました！



せいかつ部会長の増田です。よろしくお願いします。



メンバーは福祉は福祉でも様々なジャンルからの精鋭部隊で構成しています！！

プロジェクトチームのメンバーは

増田さん(でかけ隊) 池田さん(豊岡市社協)

📖 金海さん(精和園)、📖 狩野さん(日高共同作業所)

川崎さん(高年介護課)、木村さん(暮らしの学校の～ら)

📖 小谷さん(療育センター)、中奥さん(ほおずき)

📖 西池さん(豊岡市社協)、📖 久田さん(すきっぷ)

梶原さん(社会福祉課)

まず・・・せいかつ部会全体のテーマを教えてください。

「障害があっても一人で生きていける地域をつくる」です。

このテーマで検討しよう!と言う話に至った経緯を詳しくお願いします。

一人暮らしを具体的に考えていく中で、いろいろな課題が出てきました。例えば、「今家族がしているお金や財産の管理などは、将来どうする?」とか「福祉サービスなどの契約は誰がするんだろう?」「成年後見制度って?名前も聞いて事があるけどわからないことがたくさん」などです。そこでまずは成年後見制度について知ろうということで、ひびき社会事務所、豊岡地域包括支援センターに話を聞きました。現状としてわかったことは・・・

- 後見人の市町申立てのハードルの高さ
- 後見人の人材不足(なんで増えない?後見人に報酬が支払われない?)
- 地域生活の中で解決できない問題の数々
- 権利擁護の認知度の低さ 等です。

そこで!プロジェクトチームのテーマを「障害者の権利が守られる地域を目指して」と決め、あらたなメンバー📖を招集し、現在11名で月1回集まって活動しています。せいかつ部会は2つのグループに分かれていますが、同じ日に同じ場所で集まってグループごとに活動を行い最後に報告しあう、という形をとっています。

今年度はどんな取り組みをされていますか?

まずは地域でどんなことに困っているかを知るために、相談支援専門員さんにアンケートを取りました。地域で相談や生活支援をしている相談支援専門員さんに話を聞くことで、課題が見えて来るかも、と思ったからです。アンケート結果からは「困り事があったときにどこに聞けばいいかわからない」、「民事信託ってなに?」、「死後事務委任契約?」など福祉以外のことでもわからないことがたくさんあることがわかりました。

今後の取り組み予定を教えてください

今後はアンケート結果を基に、困り事のフローチャートを作成していこうと思っています。また、権利擁護のためには「権利擁護センター」のようなものが必要で、そこに求める機能を提言して行けたらと思っています。

そのほかにも何かありましたら一言お願いします

障害のある方が安心・安全に暮らして行けるためのまちづくり、その仕組みづくりができればいいなと思っています。当事者だけでなく支援者も日々迷いながら、悩みながら支援をしています。「権利侵害」といってもどこまでが権利侵害になるのか?虐待もそうです。どこまでがセーフでどこからが「虐待」になるのか?ケースバイケースとはいえ、ある程度統一というか、考え方が市で統一されていればいいなと思います。障害のある方が地域で安心して「望む生活」が出来、支援者が支援に迷うこと無く障害のある方の地域生活を支えて行ける仕組みづくりをせいかつ部会を中心に豊岡市全体の課題として考えて行きたいと思っています。

せいかつ部会の様子

成年後見制度などが利用しやすく当事者の権利が守られる豊岡市に行くためには・・・



豊岡市では障害者支援に関心があり、地域課題の解決に向け一緒に考えてくださる[自立支援協議会のメンバー]を広く募集しています。詳細へのお問合せは最終ページの事務局までお願いします。

特集その1／すごく頑張っている人繋ぎのコーナー



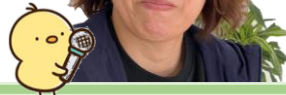
このコーナーはこの地域で頑張っている人にインタビューを兼ねて、想いを宣伊云いちゅうコーナーです。
※紹介した方に欠の方を紹介していただきバトンリレーして行きますよ!

第2回は、この方!

一般社団法人 希望

B型事業所ステップきぼう 施設長 西田智子氏

イエエーイ!!



この仕事についたきっかけを教えてください

元々、豊岡の靴業界で20年近く勤務していました。自分で言うのもなんですが、靴に関してはプロです(笑)その会社での障害者雇用開始に伴い、仕事の切り出しや困りごとのサポートを担当することになりました。当時は障害に関する知識もなく、一緒に作業する中で得意不得意を見極めたり、どうしたら皆が働きやすいかを考えるところから始めました。その中で、自分の関わりや工夫、日々の取り組みによって変化していく姿を見て、強い喜びややりがいを感じ、福祉の世界に飛び込むことを決意しました。

実際にチャレンジしてみてどうでしたか?

最初は不安でしたが、やればやるほどこの仕事に楽しさを感じてどんどんのめり込んでいきました。失敗も繰り返しましたが、その都度仲間と一緒にどうしたら良いか考え、実践する中で、自信をつけていく利用者の表情を見るとなんとも言えない気持ちでいっぱいになりました。今では皆さんの頑張る姿が私のエネルギーになっています。この業界に入って大正解でした!

大切にしていることはありますか?

利用者の「やってみたい」の発信を、タイミングを逃さずキャッチできるようにしたいと思っています。チャレンジすることって勇気がいりますが、その気持ちに寄り添ったり、自信をつけていく様子を感じられる、こんな仕事ってなかなかないですよ。

新たにステップきぼうを開設されましたが、サポートきぼうとステップきぼうの違いを教えてください

サポートきぼう開設から5年。同じ就職が目標でも利用者それぞれのペースがあることを実感し、B型と就職の中間にもう1つステップがあれば安心して就職の道に進めるのでは…そんな思いでステップきぼうを開設しました。サポートきぼうは作業の種類も多く、その人その人の得意や興味を知り、可能性を掘り出せるきっかけになる場所です。ステップきぼうは靴に特化した、より高度な作業をしています。体力面や精神面のサポートにも力を入れ、就職に向けたあと一歩が踏み出せるような支援をしています。

今後の展望等あれば教えてください

生活する上でお金は大切です。高い工賃を得ることで利用者にやりがいや達成感も感じてほしいので、今後も企業からの期待や信頼に答え続け、工賃アップに繋がってほしいです。

このバトンをどなたに繋ぎましょうか?

B型だけでなく色々な事業にチャレンジし続け、いつもキラキラしている

NPO法人そらの齋藤さんに繋がりたいと思います。

特集その2／事業所の取り組み紹介コーナー



このコーナーでは事業所独自の取り組みを紹介します。企業秘密なことは宣伊云いませんが、良い取り組みは知って欲しいし、知ることが動機になったりしますかな〜。

生活支援センターほおずきさんが実施しておられる利用者さん主体に企画をし実現する「旅行」その名も

まるほ

「ほトラベル」を紹介します!



ほトラベルはどんな取り組みですか

旅行したいと思っているメンバーが集まって一緒に旅するプログラムです。スタッフがお膳立てするのではなく、みんなでいきたい場所や行程、予算などについて話し合って計画を立てています。

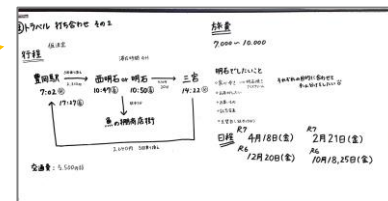
プログラムがスタートしたきっかけを教えてください

あるメンバーが「京都鉄道博物館に行きたいけど、一人では無理…」とぼやいておられたところ、「じゃあ、行きたい人をセンターで募って、みんなで一緒に行ったらええやん」とスタッフが提案したことがきっかけです。できるだけお金の負担がかからない行き方はないか…と集まった面々で考え、障害者手帳があれば半額で乗れる全但高速バスで大阪まで行き、そこから阪急電車で京都入りするという、ほトラベルだからこその行程で行ってきました。

今年度の予定は?

6月から始まった話し合いは合計7回、それぞれの希望、懐具合や電車・バスの便…等々を考えると行き先もなかなか決まらないでも、そうやって話し合っている時間もちょっとワクワクしています♪
そうして10月下旬にメンバー15名、スタッフ3名で明石の「魚の棚商店街」へ日帰りで行ってきました。
あんなに練った旅程だったのになんと当日は播但線の点検工事があり途中ぎゅうぎゅう詰めの代行バスに乗り換え到着が予定より遅れる…というハプニング!?
そんな中でもほおずきメンバーはしっかり明石焼きを食べお土産を買い大満足な様子で帰ってきました。

ホワイトボード
見えないかな〜



これまでどんなところに行かれたんでしょう?

鉄道で姫路城や鳥取市内へ日帰りほトラベルや、コロナ前はバスで1泊旅行をしたこともあります。蒜山高原皆生温泉、水木しげる記念館、出雲大社…と、とても充実した旅でした。夜の温泉旅館での宴会、すごく楽しかった〜!

実施してみて何か変化等ありましたか?

旅先では、メンバーとスタッフの垣根なく“旅仲間”になるのか、みんながお互いに日常とは少し違う目線で見てざっくばらんに話ができるように感じます(特に寝食を共にするお泊り旅行)。『他者にこんな気遣いをされるんだ』『意外にコミュ力が高い!』『リーダーシップあるなあ』…等々、普段とは違う一面が必ず発見できます。おそらくメンバーから見たスタッフもそうでしょうね。各々の距離がほどよく縮まって、よりよい関係になっているようです。

あるもんde鳥居について教えてください

平成16年の台風23号で大きな被害を受けた鳥居地区は、神戸のボランティア団体の支援を受け水害で頓挫しかけていた「市民農園」構想を実現しました。その管理棟兼食堂として設置されたのが「鳥居のさと」食堂です。地区の女性グループの皆さんが、自分たちはボランティアで、若いお母さん数名を雇いながら10年間運営されてきました。長年愛された食堂を閉めるにあたって、同地区で農作業を中心に活動してたの～らに声をかけていただき、地区の賑わいを守るためにお引き受けしたのが「あるもんde鳥居」食堂です。

どんなメニューがありますか

日替わり定食とカレーのみで、日・月曜定休という「鳥居のさと」スタイルはそのままに一日約30食で無理なく営業しています。

ご予算に応じたお弁当の予約も承っています。

あるもんde鳥居のコンセプトを教えてください

の～らは野菜や米を作っているの、日替わり定食には新鮮な自家製野菜をたっぷり使えます。コンセプトは「毎日食べても大丈夫なおうちご飯」。スタッフが丁寧な仕事をしてくれるおかげで、熱烈に支持してくださる常連さんも。ランチは11時30分からですが、売り切れてしまうこともあるため、皆さんのご来店がどんどん早くなっています。

今現在の運営はどんな感じでされていますか？

食堂を受け継いだ頃、日中活動は地域活動支援センターのみでしたが、食堂を運営するとなると一緒にご飯を食べられないメンバーが出てくるため、「仕事」として取り組んでもらえるよう、A型サービスを始めました。B型に移行してからはメンバーが調理に携わることが難しくなり、清掃や配膳、接客、皿洗いなどで活躍してもらっています。

周辺の花壇や植え込みもの～らのみんなで手入れしています。ぜひ一度お立ち寄りくださいね。



<店舗情報>
あるもんde鳥居
豊岡市出石町鳥居95番地 鳥居やすらぎ農園内
電話番号 0796-52-5553
営業時間 10:00～15:00(ランチは11:30～)
日月祝休み



事業所の取り組み紹介の2つ目は一般社団法人暮らしの学校農楽が運営されている「あるもんde鳥居」を紹介させていただきます。

の～らは色々な種類の野菜を作っておられ、そのままの素材を購入するのもよしですが、これらの素材を使ったランチも「お値段以上～・・・」です！



入口を入ると～
店内はこんな感じ～



の～らで取れた新鮮な野菜がたっぷり入った日替わり定食は季節感も栄養もたっぷりです！

新鮮な野菜をめしあがれ



編集後記

「おむすび」は、はっしん部会の取組担当が独自にアポを取らざるべからぬ雰囲気（たぶん）色々聞かせていただいているのですが、この取組担当の一人がもうすぐ産休に入ります。留守中も「早く戻りたい」と思ってもらえるようなホットな話題を届けて行くからね。え？プレッシャー？

今回も最後まで読んでいただきありがとうございました。そして取組にお付き合いただきました皆様も協力いただきありがとうございました。

知っている様で知らないマメマメ知識
を勝手におすそ分け～



Oh, I see!

[フレーミング交わり]

たとえ中身が一緒だったとしても、表現方法が変われば相手の受け取り方も変わって来ると言う心理作用です。例えば、「10回に1回は失敗する」と「90%成功する」だと圧倒的に後者の印象が良いです。

[募集中]

会報誌発行に協力いただける方（個人、団体）を募集しております。
「デザイン得意やで！」「編集なら手伝えるかも」「寄付なら」どれでもとってもありがたいです！
ぜひ、事務局までお問合せください。「協議会の会報誌担当者をお願いします」とお伝えください！

[編集・発行] 豊岡市障害者自立支援協議会
[事務局] 豊岡市健康福祉部社会福祉課
[住所] 兵庫県豊岡市立野町12-12
[TELNO] 0796-24-7033



豊岡市HP
QRコード